

委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

民生文教委員会

地域に根差した学校づくりを

本委員会では、秋田県大仙市を視察しました。

大仙市は、秋田県の中央部に位置し、平成17年に1市6町1村が合併した人口約9万人の市で、教育施策に力を入れ、全国学力調査でもトップクラスの成績をおさめています。

今回視察した協和小学校は、平成20年4月に6つの小学校を統合し、新設されました。

統合の課題としては、学校施設がなくなった地域で、「子どもたちの姿が見られなくなって、寂しい」という声が多く聞かれたので、地域の方々が、積極的に学校運営にかかわれるよう配慮されています。

施設の特徴としては、全教室がオープンとなり、子どもたちの声がどこにいても聞こえる工夫がなされています。



開放的な教室となっている

産業建設委員会

白山市観光交流施策について

石川県白山市は、平成17年に1市2町5村で合併した市です。

同市は、白山や日本海をはじめとする観光資源には恵まれていますが、その他の観光資源は規模が小さいので、市外からの観光客や宿泊者が少なく通過型が多い状況です。

そこで、観光に力を入れるべく「観光推進部」を設置し、「白山まるごと観光交流プラン」の作成を行い、市外からの入り込み客数の増加を図る施策を行っています。

この視察を通し、嘉麻市に散在する多くの観光資源を活かし、地域活性化を図る施策に取り組む必要があると強く感じました。



研修を受ける委員

総務財政委員会

自治基本条例制定の取り組みについて

長野県飯田市は、議会が主導となり、市民・行政・議会が一体となって条例制定に取り組んだ自治体です。

地方分権の推進により、自治体の自立が求められる中、平成14年に超党派による「議会在り方研究会」の設置を発端に、全国初の議

会が設置した「わがまちの憲法を考える市民会議」での議論など、3年半の歳月をかけて議論を重ねられ、平成19年4月から条例が施行されています。

また、地区説明会で、議員自らが条文内容を説明するなど、市民の中に議会自ら入ること、議員が変わり、市議会が活性化してきたと話がありました。



研修を受ける委員